



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年(平成26年)10月15日号 No.1641

目次

■ ロシアの有識者に聞く 中馬 瑞貴 1	
— 国際情勢の変化とロシア経済 —	
■ モスクワほっとニュース 10	
念願のバラブリカ / 10	
■ 統計速報 12	
2014年1～9月のロシアのブランド別乗用車販売台数 / 12	
■ エトセトラ 13	
ROTOBO月例報告会「ベラルーシの投資誘致とハイテクパーク」のご案内 / 13	
■ トピックス 13	
エネ庁がウクライナ火力発電所支援に着手 / 13	
飯田GHD、沿海地方で新会社設立を計画 / 13	

ロシアの有識者に聞く — 国際情勢の変化とロシア経済 —

ロシアNIS経済研究所 研究員
中馬 瑞貴

はじめに

ロシアNIS貿易会では、経済産業省の助成を得て、日本企業のロシア市場への進出のための新たなビジネスチャンスを探るべく「ロシア新規市場開拓可能性調査」を実施している。特に、ウクライナ問題やそれに端を発する欧米による経済制裁発動など、ロシアをめぐる国際情勢の変化がロシア経済にどのような影響を与えているのかという点に注目している。本事業の一環として、筆者は2014年9月にモスクワを訪問し、ロシアの経済分野の専門家と面談を行い、情報収集・ヒアリング調査を実施した。これらの調査結果については年度末に報告書を作成して紹介するが、刻一刻と状況が変化しているため、一足早くその一部をお知らせしたいと思う。

1週間で10名以上の専門家に話を聞くことができたが、紙幅の関係から本稿では、特に3人の専門家の話を紹介する。まず、高等経済院のボリス・クズネツォフ教授にはロシアのマクロ経済の現状を中心に話を聞いた。続いて、独立系社会政策研究所でロシアの地域政策が専門のナタリヤ・ズヴァレヴィチ・プログラムリーダーの地方の経済状況を交えたインタビューを紹介する。最後に、元ロシア連邦財務大臣アレクセイ・クドリンが組織する「民間イニシアチヴ委員会」の下部組織である「クドリン基金」のエヴゲニー・ゴントマヘル氏の制裁による社会への影響を含めた話を紹介する。